

目黒労協 2020春闘・闘争ニュース

No. 20-04 2020年3月1日

発行: 目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

メール union@r05.itscom.net

実現しよう! 大幅賃上げ、全国一律最賃制、均等待遇 第69回委員会開催、20春闘方針を確認!

2月14日、目黒労協の第69回委員会が土建目黒会館で開催され、20春闘の方針確認と学習決起集会が行われました。学習会は、ドキュメンタリー映画「フツの仕事をしたい」を鑑賞し、ブラック企業での労働者と、それを支援する労働組合の闘いを学びました。委員と学習集会の参加者、JAL 争議団あわせて24名の参加がありました。

20春闘方針は、消費税増税による実質賃金の減少が大きく、国内需要を喚起し消費主導の景気回復にはつながらない。春闘の基本姿勢は基本給(ベース)UPが主軸であり、労協に加盟の仲間とともに支えあいながら頑張ろうと提案され、満場で確認されました。



JALは一日も早い解雇争議の解決を！

JAL 争議の早期解決を求める 南部地域各駅リレー宣伝を実施

JAL 争議は、2010 年大晦日の不当解雇から 10 年を経過し、会社の不誠実な対応のため、いまだ解決のめどが立っていません。そういう中で今回、南部地域の 5 団体(目黒労協、目黒区労連、品川労協、港区労連、JAL 大田実行委員会)で相談を進め、2 月に JAL 争議の早期解決をめざす、「南部地域各駅リレー宣伝」を取り組みました。

目黒でも、2 月 19 日に「労協コース」と「区労連コース」で取り組みましたので、その様子などを紹介します。(目黒労協/事務局)

目黒労協にて対応のコース

2 月 19 日には J A L 争議支援南部地区リレー宣伝が行われました。目黒労協対応のコースには、支援の方が 14 名、争議団から 6 名の計 20 名が参加。池尻大橋を起点に中目黒駅



中目黒駅で訴える JAL 争議団・山口団長

から祐天寺、学芸大学、そして都立大学まで、5 駅頭で 宣伝が行われました。都心のターミナル駅とは異なり、買い物帰りの女性が「まだ解決しないのですか？」と声をかけてきたり、杖を片手に持った年配の男性が、マイクを持って訴えている弁士の前に来て拍手をするなど、生活に密着した駅前での宣伝では、これまでとは違った効果を実感しました。どこの駅頭でも共通していたのは、ベテラン解雇と安全との関係を訴えると、ビラの受け取りが良くなること

で、5 駅で 900 枚を配布することが出来ました。(パイロット争議団長/山口宏弥さん)

◇ JAL 争議の早期解決を求めて

2 月 19 日 J A L 労組の争議解決を求めて東急線の 5 つの駅頭を回るリレー宣伝を行いました。池尻大橋→ 中目黒→ 祐天寺→ 学大→ 都立大。1 つの駅に 30 分ほどで、駅前を行き交う人々に日本航空の 9 年にわたる不誠実な対応を訴えました。各駅ごとの配布のティッシュは 200 個。受け取りはよく昼間の行動としては、宣伝効果が高かったと思いました。

(JMITU 目黒地域支部/参加者)



◇初めての昼間宣伝をやってみて

当日は天候が良かったが、コロナウイルスがちょっと気になりつつ、行動できました。

10:00 池尻大橋駅 (宣伝活動はおよそ 30 分) バス移動

中目黒駅、以下、電車移動、祐天寺駅、学芸大学駅

お腹空いたねの声有り、都立大学駅

13:30 解散(*解散後、みんなで昼食!)

平日、午前の活動は初めてで、

通行人に声をかけられたのが珍しく記録します。

祐天寺駅

(男) 何の活動か、安倍政権は問題だ。

(女) 共産党なのか、パイロットは金持ちだ、
給料下げて働けばよい。

(男) 署名あれば協力します。

都立大学駅

(男) 共産党ですか、JAL 御巢鷹山事件は自衛隊と中曽根(当時の総理大臣)の仕業だ
→JAL 争議団の方に代わって対応していただく。

(ウェブでそのような記事があり出版物も有り、さっそく図書館で取り寄せた)

夕方の方のせわしい時間の活動には無い、一般の方との会話、おもしろかった。

他の方も声をかけられた様子。(めぐろユニオン/参加者)



中目黒駅にて、宣伝終了後に参加者で

目黒区労連にて対応のコース

2月19日、目黒区労連さんのコースは、東急目黒線・目黒駅から洗足、大岡山、緑ヶ丘、自由が丘の順で行われました。支援には、高砂自動車労組、新婦人目黒支部、年金者組合、そしてJAL客乗の先輩も参加下さいました。多い所は原告6名を含め、17名の駅もありました。チラシ入りティッシュは600個を用意いただき、5か所で配り切り、不足の駅では予備のチラシを配布しました。



通行の方の反応は大変良好で、「がんばって」「応援してます」のお声かけや、内容についてお尋ねになる方も。自由が丘では「中目黒でもらいました」とおっしゃる方がいて、目黒労協チームの活動が伝わり、嬉しくなりました。10年目の争議ですが、ご存じない方が多いです。今回の地域での日中の宣伝は、新しい層へお知らせできたのではと思います。お忙しい中をご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

(JAL 争議団・客乗原告)

☆「南部共同宣伝」ということで、目黒の両コースに、大田区労協より応援がありました。目黒からは、26日の品川宣伝に応援に入るなど、南部共闘が少し進みました。